

「ありがとう」の言葉の力を  
社会の中で感じて欲しい

人は誰でも社会の中で役割があり、必要とされることが大切。障害のある人にも「働く」ことを通じて、生きがいや幸せを感じてほしい。施設の中だけで暮らすのではなく、当たり前に関わり、地域で働き、暮らす社会を目指して、日々活動されている団体取材しました。

## 地域と連携をして社会就労を目指す

特定非営利活動法人滋賀県社会就労事業振興センターは、障害のある人が「働く」ことを通じて、社会の中での役割を担い、生きがいやしあわせを感じることができる社会を目指して、設立されました。

特に、障害のある人の雇用を創るための支援を、企業や行政、学校や医療、障害者福祉サービス事業所と連携しながら行っておられます。設立に至った経緯や、日々の活動の思いについてセンター長の城さんにお話を伺いました。

## 共同作業所を社会へと繋がる場所にしたい

振興センターが設立された1998年当時、滋賀県内には、養護学校の高等部を卒業した子ども達の居場所づくりを目的とした共同作業所がたくさんありました。しかし、そこでは、パンやクッキーを作って販売する中で得られるお給料の少なさや、作業所を出てからの就職率の低さが課題となっていました。居場所は作るだけではだめ、子ども達が大人になって、働き、暮らしていくためには、社会へと繋がる場所にしないとイケない。

そうした中で、県の障害福祉課で共同作業所のあり方について議論が交わされ、共同作業所を見直すことになりました。今までは、1つの共同作業所が、独自に障害のある人の就労支援や工賃向上を目指して商品開発などを行っていましたが、それでは限界があるのではとの声から、複数の共同作業所が共同で、就労支援や商品開発を行うこととなり、そのための中心組織として滋賀県社会就労事業振興センターが設立されました。

団体は、1998年に社団法人として設立されましたが、その後、福祉関係者だけではなく、社会や地域を更に巻き込み、事業を進めていくために、2013年にNPO法人化され、今なお、滋賀県全域の福祉を支え続けています。

活動分野

就労支援・障害福祉・社会福祉

スタッフ数

8名

団体設立

1998年10月1日

団体ホームページ

<http://hataraku-shiga.net/>

## 今は障害のある人も社会から必要とされ、働ける時代

人は「働く」ことでお金が得られるだけでなく、居場所があって、自分が必要とされて、役割があることが大切です。人から「ありがとう」と感謝されることで、生きがいを持ち、結果、充実した日々を過ごせることに繋がります。「自分が当てにされている、役に立っている、という認識を障害のある人たちにも持ってほしい。」城さんは、社会の中で「働く」ということに重点を置いて、日々活動をされています。

そうした中で、法律の改正（障害者雇用促進法）や社会全体の人手不足などから、ここ2年くらい、今まで問い合わせの少なかった業種の人たちから、障害のある人を雇用したいという声が多くなっているそうです。これは、障害のある人が社会に出て、福祉サービスの受け手から社会の担い手になる大きなチャンス。実際に、滋賀県社会就労事業振興センターでは、事業の一環として、知的障害のある人たちが、ホームヘルパーの資格をとって、介護の現場で就職を目指す支援をされています。

「障害のある人自身が、ご自身の力をどんどん発揮してほしいし、それが本人にとっても社会にとってもプラスになります。社会や地域から必要とされ、当たり前のように働いている姿を見ることが出来る。そんな社会が理想です。」

## 本来の社会のあるべき姿は、誰もが地域で普通に暮らすこと

障害のある人にとって、本当の幸せは、施設を作ったり、増やしたりすることではなく、社会や地域の中で生きていくことです。福祉に関わる人は、障害のある人を守ってあげたり、助けてあげないといけないと保護の対象としての意識を持ってしまいがちです。その意識が大きくなりすぎると、逆に閉じ込めてしまうことになってしまいます。本来の社会のあるべき姿は、決して守ってあげるのではなく、地域で普通に暮らし、働くこと、学んだり、遊んだり出来ること。その意識をどう変えていったらいいかすごく難しく、大事な課題です。

### 取材＊メモ

「最終的に自分たちが必要じゃなくなり、法人がなくなることが理想です。」とおっしゃられたことが非常に印象的でした。障害のある人が必要とされ、働けて、生活出来るようになる社会を切に願われているからこそその本音なのでしょうね。



これからも福祉業界全体を現場で支えていきたいです



▼車椅子を使用したヘルパー養成研修の実技風景



▼大津市にて三井寺環境整備事業で清掃活動を実施



▼お花見シーズンに高齢者福祉施設の方々を招いた観光おもてなし業の様子



▼センター長の城 貴志さん